

設立への歩み



うまいもんふあくとり〜

企業に学ぶ



講義



H26「商業活性化への提言」

H27「新温泉町の6次産業化」



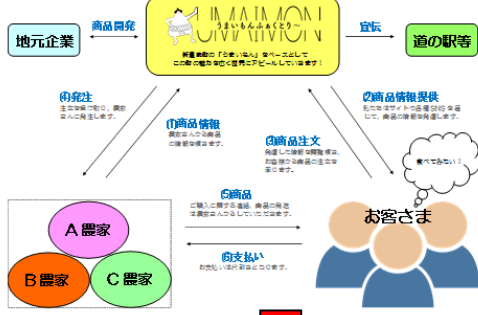
Who	What	How
「うまいもんふあくとり〜」ビジネスモデル	地元企業から学ぶビジネスモデル	地元企業から学ぶビジネスモデル
「うまいもんふあくとり〜」ビジネスモデル	地元企業から学ぶビジネスモデル	地元企業から学ぶビジネスモデル

過年度のまとめより
農家の方々への聞き取り調査やアンケートを実施し、その結果を通して課題を明らかにし、新温泉町の実情に合った6次産業化のあり方について検討を重ねました。新温泉町の6次産業化を推進するために、私たちは、地元特産品をインターネットを通して販売するプランを提案しました

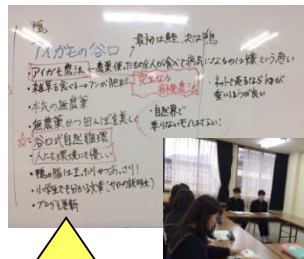
- ①地域と産業の関係
- ②ビズ初プラン〜ビズ初確立までの様々な過程
- ③ビズ初プランからビズ初プランへ
- ④商品開発から販売まで（講師：地元企業）
- ④Webマーケティングとは何か
- ⑥ビズ初設計図発表



業務70-



ビズ初プランを検討



農家さんヒアリング



ホームページ作成演習



照来地区風景



6次産業を体験



会社設立記者発表



会社設立記者発表 社長挨拶より

「消滅可能性都市 兵庫県第1位」
数年前、人口15,000人の我が新温泉町は、衝撃的な現実を突きつけられました。少子高齢化は加速的に進み、若者は都会に流出、地元産業の担い手は減少し、商店街は活気を失い、病院の診療科は廃止続き。目に映る景色は、確かに消滅の危機に直面していることを確認させるものでした。
この現状を打開するために、本校では数年前から自分たちが暮らす新温泉町、並びに但馬地域の活性化に向けて、更なるその魅力の発見と拡大、そして宣伝するための具体的な方法を模索してきました。
そして、いよいよそれらの活動が実を結び、兵庫県立大学の池田先生を始め、新温泉町商工会、NPO法人「あっと但馬」の皆さまのお力添えをいただき、この地の未来を築く我々高校生が会社を設立することとなりました。
会社名を「うまいもんふあくとり〜」と言います。
「ふあくとり〜」は「工場」という意味ではなく、「新しいものを創造し、発信する工房」という意味で、この会社がこの町の「うまいもん」を中心として、その魅力を世界中に発信する拠点になりたいという思いを込めて名付けました。

SNSで世界に発信

